

平成19年度 事務事業評価表		担当	議会事務局				内線等	1722
事務事業名	議会活動事業				事業コード	2・内部管理事務事業		
根拠法令等					Eなし			

総合計画での位置付け

基本目標	7.その他	施策名	その他
------	-------	-----	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	市議会議員が
手段	議会活動行うにあたり、議会に関する事務を処理すること及びその必要な経費を支出することにより
想定する成果	議員が議員活動に専念できる環境を整える。

事業の概要

項目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
人件費総額	220,568千円	191,279千円	194,612千円
一般質問者数	53人	53人	
視察来訪者数	96人	173人	
議会傍聴者数	472人	318人	

成果指標

成果指標名	議員1人当たりの人件費	議案等の審査件数
成果指標の説明	議員報酬+手当+共済/議員数	議案、請願、意見書案等の審査件数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位:千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		8,483千円				8,695千円				8,846千円			
成果指標		112件				112件							
事業費	事業費	224,009				194,839				198,638			
	人件費	24,022				25,545				25,700			
	(人数)	正規	2.8	非常勤	1.0	正規	3.0	非常勤	0.9	正規	3.0	非常勤	0.9
	合計	248,031				220,384				224,338			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	248,031				220,384				224,338			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	-	19年の改選により議員数は4名減ったが、若い年代の議員が増え、かえって一般質問者が増えるなど以前にも増して議会活動は活発化している。
経済効率性	2	2	3	-	予算にほぼ見合った成果をあげているが、議会活動が活発になるに伴い、これに係る事務経費は増えている。
事務効率性	3	3	3	-	14年度から1名非常勤化、16年度から正規職員が1名減となった。事務の質量ともに増えているが、現員で十分見合った成果をあげている。
必要性	-	-	-	-	内部管理事務事業
小計	8	8	9	0	
施策への貢献度	-	-	-	-	施策名が「その他」
合計	8	8	9	0	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	-	議会活動事業は現在の進め方で一定の効果があがっている。
------	---	---	---	---	-----------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

<p>前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」</p> <p>議員にファクシミリを貸与し、事務連絡用に使用しているが、これをパソコン支給、メール交信に変更する案が出ている。現時点では操作方法、セキュリティなど数多くの問題点があるが、今後のIT化・事務効率性を考えると変更は必至である。</p> <p>議会のテレビ放映、インターネット中継の実施が話題となっている。多額の費用を伴うため、導入を見送ってきたが、議会の情報化を図るため導入の検討を開始した。</p>
<p>上記改善点の実施状況</p> <p>19年度改選後に議員貸与のファックスは引揚げ、連絡は原則議員個人所有パソコンでのメール対応に切り替えた。20年6月からは携帯メールでの連絡も始めている。本会議のインターネット録画中継を18年度から開始した。</p>

今後さらに改善すべき点

インターネット録画中継は公開までに約1週間かかっているため、さらに短期間で公開できるようにしたい。また、常任委員会の中継も検討したい。

平成21年度予算に反映する項目

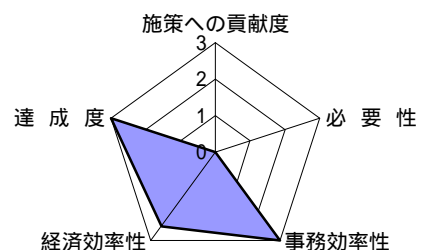
議会費は他から流用できないため、不測の事態への対応ができるよう余裕のある予算編成を望む。

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点